

令和4年度 実施事業の概要

教育事業名:新春 親子書初め体験

期間:令和5年1月8日(日)

対象及び参加人数:4, 5歳児の幼児または小学生を含む家族29組87名

目的: 日本の伝統的文化である書初めや、古くから継承されてきたお正月(小正月)の地域行事を体験し、その良さや楽しさを味わう。

事業概要:

- ・書家を招き、書道パフォーマンスの披露。
- ・巨大書制作、餅つき体験、正月クラフトを体験した。

【講師】柳澤 魁秀氏(文化庁芸術派遣講師、国立トリノ大学(イタリア)講師)

成果:

親子の体験活動として初めての試みであったが、保護者、子供ともに大変評価の高い事業となった。

講師による書道パフォーマンスでは、参加者全員がパフォーマンスを楽しんでいた。完成すると、会場から大きな拍手が沸き起こった。

巨大書制作では、大筆を両手で持ち、バケツに入っている墨をつけ、書きたい文字や絵を大きな紙に書いた。親子ともに初めて体験する方が多く、協力して夢中になって活動を楽しんでいた。

餅つき体験では、餅つきを楽しみながら完成したお餅を食べたり、お汁粉を食べたりした。

正月クラフトでは、牛乳パックを利用して、羽子板を制作したり、輪ゴム鉄砲を制作したりして活動を楽しんだ。

事業全体を通して、親子で日本の伝統的な文化を楽しめた一日となった。



書家による書道パフォーマンスは、参加者全員の心を惹きつけた。



巨大書制作では、200×150(cm)の巨大紙に。親子で書きたい文字や絵をかいた。



親子で重い杵を協力して持ち、餅つきを楽しんだ。



正月クラフトでは、親子で羽子板を作った後、羽子板遊びを楽しんだ。

課題: 巨大書製作の時間に個人差があり、時間配分が難しかった。